資料３

にでのな

に、まずは、がながどのようなをとしているかをするがあります。そので、にをすることで、のにすることがです。

また、のによっては、からわかりにくいこともあります。

やにおいては、やに、なをとしつつ、いるがあれば、に声をかけるがです。

の

○どのようながか、にする。また、やがするであっても、の自主性やをする。

○でのがかどうか、からわかりにくいこともあることをする。

○でののがあったには、できること、できないことをにするとともに、ををする。

○をつけているをはじめ、いるががいたら、にをかける。

【】

やをしている、やの、またはのなど、からわからなくてもやをとしているが、のにをとしていることをことで、をなるようした

（）



※参考

本　文　18ポイント（標準版12ポイント）

説明文　14ポイント（標準版10.5ポイント）

写真やイラストもできる限り拡大